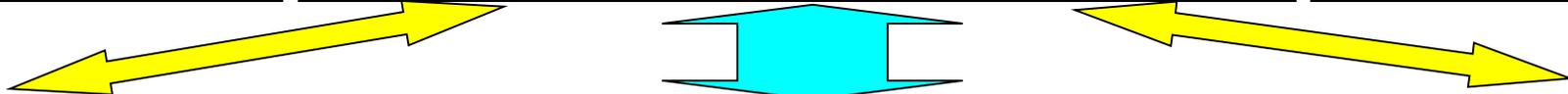


平成29年度 学力向上アクションプラン

B票

園田小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国調査の結果から見られる課題</p> <p>(1)各教科の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語:文章の内容を理解し、条件に合わせてまとめたり、自分なりの思いや考えを表現する力。また、言語事項の習得。 ・算数:解答を導き出す過程を言葉や式を用いて説明したり、自分の考えを表現する力。 <p>(2)質問紙調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で計画を立てて家庭学習をする力。 <p>○保護者アンケートから見られる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自ら宿題に取り組む等、家庭での学習習慣が身に付いている」の項目について、肯定的な回答割合が70%に達していない。 	<p>○講師を招聘して授業研究することにより、授業力の向上を図る。【(1)講師招聘支援を活用】</p> <p>○言語活動の充実のため、一人読み・音読などを中心とした授業づくりに取り組む【(1)講師招聘支援を活用】</p> <p>○ワークシート等の作成により、授業改善を図る。【(5)学力定着支援を活用】</p>	<p>○個別の学習課題に対応したきめ細かな指導のために、複数指導による支援を行う。【(3)授業補助支援を活用】</p> <p>○個々の学習状況に応じた指導の充実を図る。【新学習システムの活用】</p> <p>○個々の学力に応じた学習支援を行うことにより、学習習慣の定着を図る。【(4)放課後等学習支援を活用】</p> <p>○学習カードやワークシート等の活用により、自発的・自主的な学習態度の育成を図る。【(5)学力定着支援を活用】</p> <p>○読書力の育成を図る。(読書タイム、うち読書等)【(6)地域人材活用支援を活用】</p>	<p>○毎日5校時開始前に帯タイムとして「基礎基本の時間」を設定するとともに、漢字学習や計算学習などの取組内容について、学年等で統一し、同年同一内容とするなど、充実・徹底を図る。</p> <p>○週4回、朝の10分間読書タイムを確保し、読書量を増やすとともに、本に親しむ態度を育て、言語力、読解力の向上に努める。</p> <p>○放課後の個別指導の時間を月2回以上設ける</p>	<p>本年度の具体的な目標</p> <p>○全国学力・学習状況調査</p> <p>(1)各教科の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識Aの平均正答率(全国平均との差-5ポイント以内) ・活用Bの平均正答率(全国平均との差-5ポイント以内) <p>(2)質問紙調査(当てはまる+まあ当てはまる等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業がよくわかる」80%以上 ・家庭学習時間1時間以上65% <p>○保護者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自ら宿題に取り組む等、家庭での学習習慣が身に付いている」80%以上 <p>○児童一人当たりの読書量、年間60冊以上</p>



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○夏季合同研修会の実施</p> <p>○6年生による中学校の授業体験</p>	<p>(1)講師招聘支援</p> <p>(3)授業補助支援</p> <p>(4)放課後等学習支援</p> <p>(5)学力定着支援</p> <p>(6)地域人材活用支援</p>	<p>○講師招聘(追手門学院小学校 多賀一郎先生 7回)</p> <p>○国語、算数における同室複数指導 6h×25週</p> <p>○放課後学習 中・高学年週1×25週</p> <p>○夏季休業期間 2h×7回</p> <p>○学習支援に係るインク、用紙代等</p> <p>○読み聞かせボランティア 22人分</p>	<p>○学力向上アクションプランの明示</p> <p>○「うち読」の実施による読書力の向上</p> <p>○学校・学年だより、ホームページ等の活用による学習習慣定着に向けた取組状況の発信及び啓発</p> <p>○学力調査結果等の公表</p>